

The 51 th ADONIS CONCERT



大阪府立四條畷高等学校吹奏楽部

ごあいさつ

大阪府立四條畷高等学校長 稲葉 剛

本日は大阪府立四條畷高校吹奏楽部 定期演奏会「ADONIS CONCERT」にお越しいただき、誠にありがとうございます。毎年このような素晴らしい演奏会を開催することができますのは、本校吹奏楽部員の日々の努力はもとより、保護者の皆さま、吹奏楽部OB、OGの皆さま、そして地域の皆さま方の支援の賜物です。厚くお礼申し上げます。

今年度は、コロナ禍による教育活動の制限が緩和されて、体育祭や他校との交流など活動の場が広がりました。畷高祭や大阪府吹奏楽コンクール北地区大会、音楽芸術祭、ヒイラギコンサートなど、生徒たちが一生懸命に奏でる音色と演奏後の爽やかな笑顔は、多くの人の心にあたたかく響きました。

今日は、今年度の集大成となる定期演奏会です。毎日熱心に練習を重ねてきた部員たち一人ひとりが心を合わせて、アドニス（福寿草）のように、美しい音楽の花を咲かせてくれます。演奏を聴いていただいて、音楽の楽しさを感じ、笑顔満開になっていただけたらと思います。短い時間ではありますが、「畷吹」が奏でる音楽を最後までお楽しみください。

吹奏楽部顧問 中井 貴生

本日はご多用にも関わらず、第51回定期演奏会「ADONIS CONCERT」にご来場いただき誠にありがとうございます。本校吹奏楽部は間もなく創部60周年を迎える、伝統のあるクラブです。これだけの長い歴史を歩んでこられたのは、保護者の皆様、OB・OGの皆様、地域の皆様の温かいご支援の賜物です。心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス禍の中、活動にあたっては様々な制約がありましたが、部員たちは試行錯誤を重ねながら、演奏技術の向上に励んできました。本日の定期演奏会にて、その成果をお届けできれば幸いです。

この伝統あるクラブが末永く在り続けられるよう、今後とも皆様のご支援・ご声援のほど、何卒宜しくお願い致します。

吹奏楽部部長 平井 明日香

本日はお忙しい中、第51回「ADONIS CONCERT」にお越しいただき、誠にありがとうございます。私たちは、「誰の心にも温かく響く音楽を～Music with Heart～」をモットーに、1年生22名、2年生23名の計45名で日々練習に励んでおります。

今年は新型コロナウイルスによる行動制限が徐々に緩和され、私たち吹奏楽部もコロナ以前に近い形で演奏会を開催してまいりました。去年以上に増えたイベントに向けて、休む暇もなく練習するという体力的にも精神的にも負担のかかる状況に直面し、練習しても成果が出なかった時や、つらくて逃げ出したくなる日も多々ありました。しかし、その度に部員は互いに支え合い、そして励まし合い、この1年を通して、仲間の大切さ、尊さに気づくことができました。

多忙だった1年も、とうとうこのアドニスコンサートをもって締めくくりとなります。練習時間が短い中でも、この日のために部員が一丸となり身を粉にして練習を重ねてまいりました。また、2年生23名のうち16名は今日をもちまして引退となります。応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。

本日は、私たちにとっても、皆様にとっても素晴らしい時間となりますよう最後まで心を込めて演奏致しますので、どうぞごゆっくりお楽しみください。

第1部

トレイルブレイズ

ゴフ・リチャーズ / 作曲

眩い星座になるために…

八木澤 教司 / 作曲

ディープ・パープル・メドレー

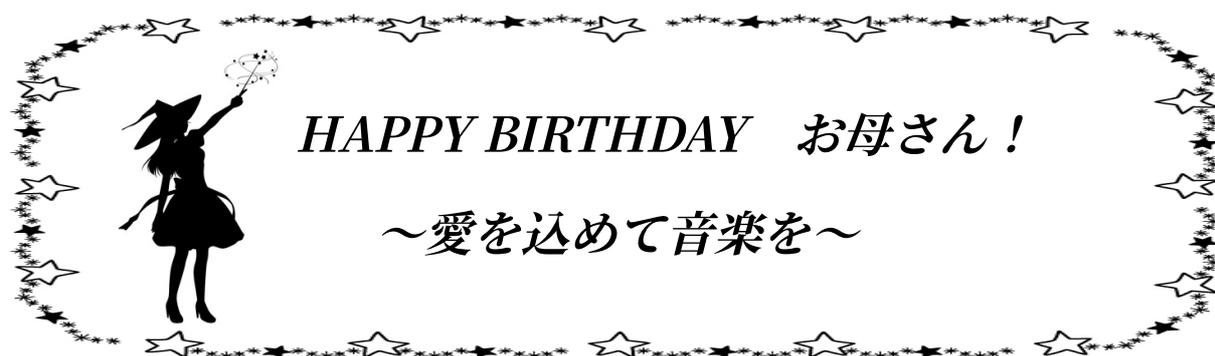
佐橋 俊彦 / 編曲

天国の島

佐藤 博昭 / 作曲

第2部

企画ステージ



第3部

さくらのうた

福田 洋介 / 作曲

Alright! ハートキャッチプリキュア!

高取 ヒデアキ / 作曲

金山 徹 / 編曲

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より

クロード=ミシェル・シェーンベルク / 作曲

森田 一浩 / 編曲

プログラム解説

眩い星座になるために...

八木澤教司作曲の「眩い星座になるために...」は、関東学園大学附属高等学校の創立50周年を記念して「星」をテーマに作曲されました。まだまだ未熟である一人ひとりの生徒たちが、様々な経験を積んで成長し、やがて力を合わせながら眩く輝く星のようになっていく...、という想いが込められています。また、「星のように吹奏楽部を輝かせたい!」といった生徒たちの想いも反映されています。曲の前半は、「輝きのない星が成長していく」中盤は、「大きな隕石にぶつかって砕ける」後半は、「沢山の星が一斉に輝きだし、星が流星群の様にながれ、最も美しい輝きを放つ星座になる」という意味が込められています。場面ごとに変化する音に込められた想いに注目してお聴きいただけたらと思います。

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より

この曲は、フランスの復古王政の始まりから六月暴動あたりまでを時代背景に、当時の不安定な社会で生きる人々の生涯を描いた小説「Les Misérables」を基としたミュージカルに依っています。小説「Les Misérables」はフランスの詩人であり作家であるヴィクトル・ユーゴーにより執筆され、多くの人気を集めました。ぜひ下記のあらすじを読んでどういう場面なのか想像して聴いていただきたいと思います。

舞台は19世紀のフランス。お腹を空かせた姉の子供達のため、1本のパンを盗んだ主人公ジャン・バルジャンは19年間も投獄されてしまいました。釈放後、親切な司祭の家に一泊させてもらえますが、彼はあろうことか銀の燭台を盗んでしまいます。しかし司教は、憲兵にジャンが盗んだのではなく自分が与えたと言い、さらに銀の燭台も与えました。司教に感化され、善の人になったジャンは数年後、名前を変え、ある町の市長になり人望を集めました。

町の工場で働く女性フォンティーヌと出会うが、ジャンが出張中、未婚なのに娘のコゼット（3歳）がいることがばれて工場を解雇されました。コゼットを預かったテナルディエ夫妻は養育費としてお金を請求、借金が増え、自分の髪の毛や前歯を売り身体を売りお金を稼ぐように...

その後、ジャンは娘を心配するフォンティーヌにコゼットを連れてくると約束するが、再び逮捕され監獄に。フォンティーヌは病死しました。数年後に脱獄したジャンは8歳になったコゼットが女中として働かされ虐待を受けている姿を見て、お金を払いコゼットを引き取ります。ジャンを必要に捕まえようとするジャヴェール警部の目をのがれコゼットと2人で暮らす中、本当の親子のような愛情がお互いめばえました。

数年後、別の邸宅に移り、公園を散歩中、偶然居合わせたマリユス青年が美しく成長したコゼットを見て一目ぼれ。コゼットもマリユス青年に恋をし愛し合うようになりますが、パリには革命と戦争の影が濃くなっていました。マリユスが所属する秘密結社、犯罪者集団をまじえ、革命と暴動が吹き荒れる中、ジャンとコゼット、マリユスとジャヴェール警部がそれぞれの選択と決断をくだしていきます。

本日は、人生に絶望して虚しさと悲しみを歌ったフォンティーヌの「夢やぶれて」や、世の中に対しての怒り、打破したいという希望を歌った「民衆の歌」などの7曲をメドレーで演奏いたします。

2022年度 活動内容

- 6月 暇高祭（1日目：第三芸能 2日目：大劇場）にて演奏
大阪府立交野支援学校四條暇校への訪問演奏
「第21回 LILAC CONCERT」開催
- 7月 「第61回大阪府吹奏楽コンクール 北地区大会」銅賞
- 9月 令和4年度体育祭でのファンファーレと校歌の演奏
「COSMOS CONCERT」開催
- 11月 校内アンサンブルコンテスト開催
- 12月 音楽芸術祭での演奏
「第49回大阪府アンサンブルコンテスト」
・クラリネット四重奏（銀賞）
「HIIRAGI CONCERT」開催
- 1月 「第9回堺市アンサンブルコンテスト」
・フルート五重奏（銀賞）
・サクソフォン六重奏（銀賞）
- 3月 第51回定期演奏会「ADONIS CONCERT」開催

(COSMOS CONCERT での集合写真)



ご来場ありがとうございました。



これからも暁吹をよろしくお願ひします。

↓ 暁吹キャラクター
なわでいあ

